

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN
GRADUATE SCHOOL OF ART AND DESIGN

女子美術大学大学院
2019年度
博士後期課程
一般入学試験要項

<http://www.joshibi.ac.jp>

提出書類

1. Web志願票（印刷したもの）1枚

※「ネット出願手順」に従い、登録を完了し、印刷してください。

2. 出身大学院の修了（見込）証明書および成績証明書（日本語または英語）

※外国の学校において大学院入学資格を取得した方は、学位証明書を添付してください

※出願資格②に該当する方は以下の証明書を提出してください。

・学位を授与された方は学位授与証明書（授与見込みの方は大学改革支援・学位授与機構による授与申請を受理した証明書）

・基礎資格となる当該大学の成績証明書およびその後取得した学位に係わる単位の成績証明書

※出願資格⑥に該当する方

・「出願資格認定書（写）」（認定時発行）

注1）インターネットから自分でプリントする証明書やコピーは受け付けられません。公印またはサインのある証明書が必要です。

注2）中国国内で発行された卒業証明書および成績証明書の日本国内における公証・認証手続は、「中国学歴・学籍認証センター日本代理機構」（03-6909-2235）で行われています。

以下のWebページ等も参考にして、早目に準備するようにしてください。

CHSI中国高等教育学生信息网 <http://www.chsi.com.cn/>

3. 経歴書（本学所定）

4. 志望理由書（本学所定）

注）外国人留学生の方は「3. 経歴書」・「4. 志望理由書」の代わりに「外国人留学生入学志願者調書（本学所定）」を提出してください。

5. 研究計画書（表紙：本学所定）

注）博士後期課程における研究計画を、日本語により4,000字程度（図表を含んでよい。A4判）にまとめ、本学所定用紙を表紙とし、クリップ止めにして同封してください。

6. 提出作品等に係る誓約書

7. 特別な配慮を希望される方のみ配慮希望申請書(本学所定)および診断書

受験時や入学後の修学における特別な配慮を希望する方のみご提出ください。

「配慮希望申請書(本学所定)」はあらかじめオープンキャンパスや進学説明会等を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な内容について事前相談の上記入してください。所定用紙は事前相談の際にお渡しいたします。

また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。

事前相談による申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

*事前相談については女子美入試センターまでお問い合わせください。 ☎042-778-6123

なお、この事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

8. 外国人留学生の方のみ受験の際の在留資格・期間が確認できる書類（下記2点）

・パスポートの本人確認ができる写真付ページのコピー

・住民票、在留カード両面のコピー、入国査証・証印のコピーのうちいずれか1つ

注1）出願時に日本に入国していないなど、提出できない場合は、理由を記入したメモを提出書類に同封し、

試験当日に入国査証・証印のコピーを仮受験票発行窓口まで持参してください。

注2）入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可が取り消されます。

提出物

修士論文、修士作品等、内容は研究領域により異なります。

また、提出方法も出願の際提出書類に同封して提出する物と、受験の際に直接持参する物がありますので、「提出物等に関する注意」で確認してください。

出願期間

2019年2月4日（月）～2月13日（水）締切日必着

※日本国外から提出書類を郵送する場合は、「日本国外から出願する場合の注意事項」を参照してください。

出願先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター

出願資格の事前審査

- 出願資格⑥に該当する方のみ実施します。

審査方法 提出書類を基に、教育・学習歴、社会における経歴および資格等を、学内の審査委員会において総合的に審査します。

所定用紙請求先 女子美入試センター ☎042-778-6123 (休日は除く) 平日 9:30~17:00 土曜 9:30~15:00

- 提出書類**
- ①事前審査申請書 (本学所定)
 - ②最終学校の卒業・修了(見込)証明書、成績証明書(日本語または英語)
 - ③制作・研究経歴書(本学所定)
 - ④出願資格に相当する年齢に達することを証明するための書類(写)
2019年4月1日に満22歳に達していることを証明するための書類(写)
例: 運転免許証、健康保険証、パスポート、学生証 等
注) 外国人留学生は、パスポートの本人確認ができる写真付ページのコピーを同封してください。
 - ⑤外国人留学生の場合は以下の書類
 - ・外国人留学生入学志願者調書(本学所定)
 - ・在留資格・期間を確認するための書類
以下(1)~(3)のいずれか1つを提出してください。
 - (1)住民票
 - (2)在留カードのコピー(両面)
 - (3)パスポートのコピー(在留資格・期間の確認できる入国査証ページ)注1) 申請時に日本に入国していないなど、提出ができない場合は、理由を記入したメモを同封してください。
注2) 入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は入学許可が取り消されます。
※この他必要に応じて本学が指定する書類を提出していただくことがあります。

申請締切 2019年1月28日(月) 締切日必着

審査結果 本人宛に通知します。審査には2~3週間を要します。
審査結果を通知する際、認定した方には「出願資格認定書」を同封しますので、出願に際してはこれをコピーし、提出してください。

日本国外から出願する場合の注意事項

- 提出書類の送付について
 - ・試験日に合わせて来日するため、入国査証・証印のコピーを試験当日に持参する方も、パスポートの本人確認ができる写真付ページのコピーは必ず提出書類に同封してください。
 - ・EMS(国際郵便)などを利用して、必ず受付期間内に届くようにしてください。期間内に届かない場合は、受験資格の確認ができないことにより失格となります。
 - ・提出書類が到着したかを確認する場合は、女子美術大学入試グループまでご連絡ください。
TEL: 042-778-6133 E-mail: as@venus.joshihi.jp
- 受験票の受け取りについて
 - ・受験票の送付先は日本国内に限ります。日本国内の知人や友人を受取人とする場合は、Web志願票の住所に「〇〇様方」(〇〇は受取人の氏名)と記入してください。
 - ・日本に受験票の受取人がおらず、日本国外から直接受験される方の受験票は発送せず大学で保管し、試験当日の朝、「仮受験票発行窓口」で直接手渡します。
- 検定料の振込みについて
 - ・「ネット出願手順」に従い、クレジットカードでお支払いください。
- 合格した際の合格通知・入学手続書類の送付先について
 - ・出願登録時に入力した住所と異なる場合は、試験当日「仮受験票発行窓口」にお申し出ください。
(例: 母国の保証人宛にEMS(国際郵便)を希望する方など)

提出物等に関する注意

1. 提出物には出願時に提出書類に同封して提出するものと、試験当日に持参提出するものがありますので、各表で確認してください。
2. 各提出物には「提出作品・論文貼付用紙」(本学所定)を貼付してください。
3. 提出された修士論文等は原則として返却いたしません。返却希望の場合はその旨を記入したメモ等を同封してください。
4. 当日持参提出される作品等は、試験終了後に返却いたします。
5. 出願の際、送付物を複数包で郵送する場合は、予め女子美入試センターにご連絡ください。

出願時提出物(論文等)および提出方法

研究領域	内 容
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文(該当者のみ) (提出物は修士作品または修士論文のいずれかです。修士論文を提出する場合のみ出願時送付書類に同封してください。) 修士論文には2,000字程度の要旨を添えて提出してください。 修士論文を作成していない方で論文の提出を希望する方は、志願する研究分野に関する20,000字程度の論文に2,000字程度の要旨を添付してください。 学会誌等査読を経た、単著論文が刊行されている場合は、それをもって修士論文に代えても構いません。 なお、修士論文等が日本語以外で執筆されている場合も、論文要旨は日本語による2,000字程度の文章で作成したものを添付してください。 ・ その他の研究成果 作品写真および制作資料として、2年以内に制作した主な作品の写真(スライド可)およびその制作資料(制作意図・技法等を整理したもの)をファイルにまとめて提出してください。 ※搬出入が簡便なものであれば、写真でなく作品を提出しても構いません。 ※研究成果を示す刊行物等を提出しても構いません。
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文(該当者のみ) (提出物は修士作品または修士論文のいずれかです。修士論文を提出する場合のみ出願時送付書類に同封してください。) 修士論文には2,000字程度の要旨を添えて提出してください。 修士論文を作成していない方で論文の提出を希望する方は、志願する研究分野に関する20,000字程度の論文に2,000字程度の要旨を添付してください。 学会誌等査読を経た、単著論文が刊行されている場合は、それをもって修士論文に代えても構いません。 なお、修士論文等が日本語以外で執筆されている場合も、論文要旨は日本語による2,000字程度の文章で作成したものを添付してください。 ・ その他の研究成果 作品写真および制作資料として、2年以内に制作した主な作品の写真(スライド可)およびその制作資料(制作意図・技法等を整理したもの)をファイルにまとめて提出してください。 ※搬出入が簡便なものであれば、写真でなく作品を提出しても構いません。 ※研究成果を示す刊行物等を提出しても構いません。
芸術文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文 修士論文には2,000字程度の要旨を添えて提出してください。 修士論文を作成していない方は、志願する研究分野に関する20,000字程度の論文に2,000字程度の要旨を添付してください。 学会誌等査読を経た、単著論文が刊行されている場合は、それをもって修士論文に代えても構いません。 なお、修士論文等が日本語以外で執筆されている場合も、論文要旨は日本語による2,000字程度の文章で作成したものを添付してください。 ・ その他の研究成果 学会大会、紀要その他刊行物での発表、研究計画に関連した作品等がある場合は、提出しても構いません。

■当日持参提出物（作品等）および提出方法

研究領域	内 容
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士作品（該当者のみ） （提出物は修士作品または修士論文のいずれかです） 修士作品を提出する場合のみ持参してください。 なお、修士作品に準ずる作品をもってこれに代えることもできます。 ・ 修士作品の制作資料（制作意図・制作方法・制作技法等を整理したもの） 制作資料には、エスキース、素描等を加えても構いません。 <p>提出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物には本学所定の貼付用紙を貼付し、以下の日時に提出（搬入）してください。 2019年2月28日（木） 11:30 <p>提出場所は当日指示します。</p>
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士作品（該当者のみ） （提出物は修士作品または修士論文のいずれかです） 修士作品を提出する場合のみ持参してください。 なお、修士作品に準ずる作品をもってこれに代えることもできます。 ・ 修士作品の制作資料（制作意図・制作方法・制作技法等を整理したもの） 制作資料には、エスキース、素描等を加えても構いません。 <p>提出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物には本学所定の貼付用紙を貼付し、以下の日時に提出（搬入）してください。 2019年2月28日（木） 11:30 <p>提出場所は当日指示します。</p>
芸術文化	当日持参する提出物(作品等)はありません。

受験

試験日 2019年2月28日（木）

試験場 **相模原キャンパス**（神奈川）
美術研究領域・デザイン研究領域（視覚造形・環境造形）・芸術文化研究領域

杉並キャンパス（東京）
デザイン研究領域（ヒーリング造形）

試験科目・時間 ● **全研究領域共通** 【外国語(英語)】 13:00～14:00（1時間）
【口述試験】 14:30～

受験上の注意

- ・ 外国語試験には辞書の持込みを許可します。ただし、電子媒体を用いた辞書は使用不可とします。
- ・ 研究分野に関する口述試験には提出物に関する質疑を含みます。
- ・ 色彩学研究分野の口述試験は日本色彩学会等の大会口頭発表の形式に準じての研究発表となりますので、あらかじめ準備して臨んでください。
 - ① 内容は、色彩学に関する本人の研究であれば、未発表のものである必要はありません。したがって、修士論文やその一部、あるいは修士論文を発展させたものも含まれます。
 - ② 研究発表の要旨（2,000字程度）を試験当日持参してください。
 - ③ プロジェクター、白板を用意します。資料などを配布されても結構です。また、参考資料等の持込は可とします。
 - ④ 発表時間は20分です。その後、質疑応答を行います。
- ・ 口述試験にPC等が必要な方は持参し、機器の設定は当日の作品搬入時に確認してください。
- ・ 特別に大学の機器（プロジェクター、DVDプレーヤー等）が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・ 試験に関する伝達事項は、主として本要項と当日配布するプリントによるほか、掲示で行います。試験場の号館・教室番号・控室等は、試験当日に確認してください。
- ・ 当日持参する提出物のある方は11:30に来校してください。提出物がない方は、遅くとも12:30までには来校してください。
- ・ 受験票は必ず持参し、試験場で提示してください。また、紛失や忘れた場合には係員に申し出てください。
- ・ 昼食は学生食堂が利用できます。

合格発表

発表日 2019年3月4日(月) 10:00

※発表時間は状況により遅れる場合があります。

- ・受験者全員に合格通知を郵送します。(志願票に記載の住所宛)
- ・合格発表日より3日間、合格者の受験番号を本学ホームページに簡易発表として掲載します。
なお、この発表は合格確認の補助的な手段ですので、正式には本学からの通知でご確認ください。
- ・合格者には合格通知と入学手続き書類一式を郵送しますが、発表日の翌々日を過ぎても書類が到着しない場合はお問い合わせください。(ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。)

☎042-778-6611

- ・学内の掲示発表は行いません。
- ・合格について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。

入学手続

締切日までに所定の書類を提出し、入学時納入金(下表①)を指定銀行口座にお振込みください。
この手続きが完了した後に入学許可書を郵送します。

締切日 2019年3月14日(木)

学費等 表中の金額については2019年度に若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続の手引き」で再度ご確認ください。

■博士後期課程 初年度納入金(2018年度参考) (単位:円)

科目	専攻	美術研究科	
		美術専攻	
①入学時納入金		584,620	(374,620)
内訳	入学金	130,000	(—)
	授業料・施設設備料等	454,620	374,620
②後期納入金		450,000	(370,000)
年額納入金(①+②)		1,034,620	(744,620)

()内は、本学大学院博士前期課程修了(見込)生の金額です。

※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。

納入金返還制度

入学を許可された方が入学辞退する場合は、下記期限までに「入学辞退届」を提出し、本学がこれを受理した場合に限り、入学金を除く他の納入金を返還します。(詳細は合格通知同封の「入学手続の手引き」を参照)

入学辞退届提出期限 2019年3月31日(日) 15:00 必着



その他

宿泊 本学大学院では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。

入学後の住まい 遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。
申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。

個人情報保護について 「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他、個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。
なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、合否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。
※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学ホームページにおいてご確認ください。

寄付金等の募集について 本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っていません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っていません。保護者の皆様からのご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

「二ケの会」について 「女子美術大学 二ケの会」は、学生の保護者の皆様と大学が協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的としています。地区別懇親会、会報発行、課外活動への補助等の事業を実施して参ります。

授業料減免制度 大規模自然災害被災学生および私費外国人留学生に対する減免制度があります。

奨学金制度 奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の2種類があります。
※奨学金制度等の詳細については、本学ホームページに掲載の「[奨学金制度](#)」をご覧ください。

- 1. 学内奨学金** ※4月入学後に申請するものです。入学前に申請できるものではありません。
本学独自の奨学金で勉学の機会をできる限り援助するため、返還義務のない給付型の奨学金を設置しています。
- 2. 学外奨学金**
学外の団体等によって運営されている奨学金制度です。対象、応募方法、募集時期は設置団体によって異なりますが、それぞれの条件にあてはまる場合にのみ応募できます。
こうした団体の代表的なものとして「独立行政法人 日本学生支援機構」があります。

提携教育ローン 奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。

国の教育ローン 日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。